

みなさん!積極的に
"リユース食器"を
使ってください

イベントの飲食ブースではこの"リユース食器"を使用。ゴミをできる限り出さない配慮もこのイベントの課題でもある。



長尾洋輝さん 青木俊介さん
仁科美晶さん
笹川 泰さん 市村栄論さん



甲府ちゃんねるpresents KOFU RESORT JAM
2017年9月30日(土)開場13:00 開演13:30(20:00閉演予定)
会場 山梨県庁 噴水広場

飲食の店には長池さんらが推奨している「リユース食器」が用いられる。リユース食器使用は手間もコストもかかる。しかし、「人と街にとって、気持ちが良いイベントにしたい」という想いが共鳴し、実現にこぎつけた。

イベントには、山梨大学学園祭実行委員のメンバーもサポートスタッフとして参加。「街づくり」に興味があるという学生らは「これから山梨の新たな伝統になっていったら面白い」と意気揚々。また、「イベントに関わることで、企画や運営のプロの仕事を間近でみる事ができる。巧さを学び、自分たちの学祭や今後に生かしたい」とそれぞれ目を輝かせる。

スタッフに共通しているのは、目的を持ち、自身の役割を認識し、わくわくしていること。それぞれ自分の頭で自分にできることを考え、街のために生かそうとしていること。個人が社会にできることを本気で模索し、物事を進めようとしていること。情熱を持ち、「みんなに楽しんでもらいたい」と動く姿は

NPO法人スペースふう/
長池伸子さん



「暮らしていて実感することです。山梨は住みやすい。例えば、経済的な部分では東京に勝てないけれど、こちらにはこちらの良さがある。空気も緑も水もきれいで、芸術やアートに関する創作活動がしやすいと思うんです。自分が音楽をやっていたこともありましたが、そういったアートの側面が成長していくきっかけになれたらと思います」(溝井さん)

そのために、まずはきっちり安全にイベントを運営し、来年もやってほしい」という街の評価を得ること。その「結果」を残すために、多くの人に声をかけ、巻き込み、感覚を研ぎ澄まして準備に奔走している。

「誰かのため、街のためにできることは、誰にでもきつとある」(長池さん)

全国初、行政機関敷地内で行われる野外音楽フェスは、多くの人が関わり、学び合い、一つの場となる。参加するみんなが気持ち良く楽しむことができるだろうその時空間は、この街に新たな価値を提供してくれるはずだ。



左/山本健司さん・溝井さんの魅力に惹かれ、中心街の活性化をともに目指す
右/山本論さん・山梨は人の温かさ、自然、フルーツ、夜景が魅力と語る



左/小野俊彦さん・溝井さんの右腕的存在であり、開催に向け、日々奔走している
中/渡邊来夢さん・県庁で初めて行うイベントを成功させ、次に繋げたいと願う
右/結城健人さん・山梨の魅力を存分に伝えたいとオープニングアクトを務める



株式会社HAPPYKING実行委員会/
KOFU RESORT JAM 代表/
溝井伸輔さん

人と人のつながりが新しいうねりを創りだす

山の緑と空の青。すがすがしい空気と穏やかな雰囲気は山梨県の魅力。住みやすく、移住したい都道府県でも常に上位にランクインする。

一方で、甲府駅前や中心街の空洞化、空き家問題は年々深刻に。その状況に風穴をあけるべく、今秋一つの音楽イベントが仕掛けられる。

「自分でできること、好きなことで、何かしたいと考えたら、音楽でした」と話す『株式会社HAPPY KING 実行委員会 KOFU RESORT JAM』代表の溝井伸輔さん。溝井さんは進学をきっかけに山梨を訪れ、暮らし始めた移住者でもある。「緑が豊かなこと。それと、きれいな空気と水があること。あとは人。一度『内』に入ればあたたかい、山梨県人の人柄も魅力ですね」と山梨を語る。

県庁を舞台に行われる初の野外音楽フェスティバル「KOFU RESORT JAM」。「リゾート」の名の

「地域活性化を一生懸命考え、いろいろなところに働きかけている姿を見て協力したい、応援したい人だと思いました」という都内イベント会社役員、松橋寛人さん。「言葉だけではない行動力。雰囲気と勢いに魅力を感じ、協力したいと思いました。世の中の空気を変えるチャンスだと思っています」と言うNPO法人スペースふうの長池伸子さん。ふたりも溝井さんと彼が生み出す新たなチャレンジに魅せられてつながった。

みんなが楽しめるイベントにと働きかけながら、環境にもフォーカス。

このイベントは、多くの人や団体の協力のもとで行われる。行政、企業、学生、NPO、そして街の人と出演アーティスト、そのすべてを結びつけているのが、溝井伸輔さんの存在にほかならない。

既存性がないから価値がある
溝井さんを応援したくなる理由

山梨に新しいカタチを What's KOFU RESORT JAM?

9月30日(土)、山梨県庁噴水広場で人の心を揺るがすであろう音楽イベントが行われる。その名は「KOFU RESORT JAM(甲府リゾートジャム)」。音楽を通じてたくさんの人の笑顔を創りたいと開催するこのイベントは、大胆にも行政機関の敷地内をステージとする。山梨の空気・多方面から集う人々・洗練された音楽が混ざり合う非日常の空間は、甲府の街と人々に活気を与える起爆剤になると期待できるのか。主催者達に話を聞いた。



甲府市観光課より

KOFU RESORT JAMは、甲府市を元気にしようと集まった若者が、音楽で多くの人々を誘客し、賑わいだけでなく、宿泊や飲食などによる地域の活性化を目的とするイベントであり、本市の課題である交流人口の増加や認知度の向上への貢献が大きく期待できると考え後援しました。

実行委員会として初めての大きなイベントであり、越えなければならないハードルがいくつもあるかと思いますが、若い力を合わせてこのイベントを成功に導いてほしいと願っています。